

# 武蔵台の雑木林と国府への道

国分寺跡や国分尼寺跡を巡り、鎌倉古道を歩く

歴史の香りに満ちたコース。国分寺崖線の自然ともふれあえます。



## 武蔵国分尼寺の金堂跡

JR武蔵野線の高架下をくぐると国分寺市立歴史公園武蔵国分尼寺跡に出ます。国分寺は僧寺と尼寺で国分二寺ともいい、尼寺は僧寺に比べ小さくつくられたようです。柱の立つ金堂跡は不思議な雰囲気の間です。道路をはさんで黒鐘公園。そこから旧鎌倉街道へ。

## 国指定史跡武蔵国分寺跡



## 奈良のいにしえに思いを

国指定史跡武蔵国分寺跡の北側入口に、周辺案内図があります。奈良のいにしえに思いをはせながら国指定史跡武蔵国分寺跡の金堂や七重塔の礎石を巡ったら府中街道の方向へ。途中、国分寺市文化財資料展示室(無料)があります。

## アカマツの群植を見る

北府中駅から北府中公園、ケヤキ並木の歩道を通り、府中刑務所の塀沿いに歩いてあかまつ林に向かいます。ここでは貴重なアカマツの群植が見られます。また、都立府中高校の正門脇にアカマツがあります。府中高校は昔、「赤松学園」という女子校でした。

**国指定史跡武蔵国分寺跡**  
国分寺は、天平13年(741年)に聖武天皇の詔により、国家の平和を願う疫病の流行や飢饉などの災いから守るため、全国に建立がすすめられました。武蔵国分寺もその一つです。現在の国分寺の南に古代の国分寺跡があります。当時の広さは概ね東西1.5km、南北1kmに及び、全国屈指の大きさに講堂・金堂・僧坊・七重塔などの伽藍が配置されていたようです。大正11年、国の史跡に指定されました。



## 国指定史跡武蔵国分寺参道口の跡が

学園通りから万作の木公園へ。マンサクは花びらが一本の線のような形をした黄色い花で、名前の由来には、花が多いので豊年満作から、あるいは春真っ先に咲くからといった説があります。ここは武蔵国分寺参道口跡があり、冠木門(二つの柱の上の方を横木で貫くように渡した屋根のない門)跡の説明があります。



武蔵台遺跡公園



武蔵台公園

## 武蔵台公園から黒鐘公園へ

むさしだいこみちから総合医療センター正門入口のサクラ並木を経て、大通りに出ますが、脇道の白明坂を通るコースもあります。白明坂は新田義貞が鎌倉幕府軍を分倍河原に攻め込もうとしたところ、ここで夜が明けてしまったことに由来するといわれます。武蔵台文化センターで一息ついたら、武蔵台公園から、段丘の道を国分寺緑地黒鐘公園に進みます。国分寺市立歴史公園武蔵国分尼寺跡を経て、府中街道に出ればゴールの警察病院停留所です。

**武蔵台公園**  
国分寺崖線は多摩川の河岸段丘の一つ。武蔵台公園では、その崖線部分が雑木林のまま保存され、コナラやクスギ、アカマツなどが急勾配の斜面に見られます。ほとんど人の手が加えられておらず、武蔵野の本来の姿をとどめています。新緑の雑木林は府中30景。



旧鎌倉街道

## 旧鎌倉街道の遊歩道に行く

鎌倉街道は、鎌倉幕府のあった鎌倉と各地を結ぶ道路の総称で、国の史跡に指定されています。旧街道を上がり武蔵台遺跡公園へ。縄文時代の敷石住居跡が復元されています。